

平成 30年度 山岳医療救助機構 主催
 アウトドア ファーストエイド 講習会
 ベーシック・リフレッシュコース
 募集要項

申込はこちらから↓



sangakui.jp

山岳医療救助機構 🔍

平成 30年 3月 19日
 平成 30年 10月 22日改定
 ICAR 加盟 山岳医療救助機構

1. 趣旨

登山など野外での活動において傷病者が発生した場合、現場での迅速な応急・救命処置を実施するためには、居合わせた人の技能が求められ、多くは非医療者に該当します。また、山岳や野外における応急・救命処置は、都市部における処置とは異なる側面を持ち、医療者であっても学ぶ機会は非常に限られています。野外環境の特性を踏まえた正しい知識と適切な応急・救命技術は、医療資格に関わらず身につけることが可能であり、その技能を身につけた救助要員の養成、登山者や野外活動者の自助能力の獲得が、救助隊員の安全と遭難防止のために望まれます。

近年、この分野の研究が進み、国際的な知見のアップデートの速度が上がってきています。本講習では、欧州や北米のみならず本邦からの新しい知見等に基づき、日本の病院医療、法規、救助事情とも整合性を持ったカリキュラムを構築しております。また、主催者は、各種救助要員、高校山岳部、大学生等の指導者向けテキスト等にも情報を提供しており、アウトドアに関わる予防と応急処置技能の標準化、および水準の維持・向上を目指した包括的なアウトドア医療教育の一つとして展開する講習会です。医療的な指導は、専門の知見を有する医師が行うことで、間違った知識の普及を防ぎ、正しい知識と技術の習得を広めるよう配慮されています。

2. 主催 ICAR(国際山岳救助協議会)加盟 山岳医療救助機構

3. 後援 一般社団法人 日本登山医学会

4. 期日、開催地、受付日程

カリキュラム	開催期日	開催場所	申込受付期間	受講連絡日	講習開始・最終解散時刻			
					受付	開始	解散 (※Aのみの方)	
ベーシック	A	6月8日(金)	オリンピックセンター(東京)	4月16日9時~5月7日24時	5月14日	9:00	9:20	19:30(※)
	BC-S	6月9(土) - 10日(日)	オリンピックセンター(東京)	4月16日9時~5月7日24時	5月14日	9:00	9:20	14:30
	A	7月6日(金)	国立登山研修所(富山)	5月14日9時~6月4日24時	6月11日	9:00	9:20	19:30(※)
	BC-S	7月7(土) - 7月8日(日)	国立登山研修所(富山)	5月14日9時~6月4日24時	6月11日	9:00	9:20	14:30
	A	2月1日(金)	国立登山研修所(富山)	12月3日9時~1月7日24時	1月11日	9:00	9:20	19:30(※)
	BC-W	2月2(土) - 2月3日(日)	国立登山研修所(富山)	12月3日9時~1月7日24時	1月11日	9:00	9:20	14:30
	A	2月15日(金)	長野県山岳総合センター(長野)	12月17日9時~1月10日24時	1月17日	9:00	9:20	19:30(※)
	BC-W	2月16(土) - 17日(日)	長野県山岳総合センター(長野)	12月17日9時~1月10日24時	1月17日	9:00	9:20	14:30
リフレッシュ	6月28日(木)	東京都内	5月21日9時~6月11日24時	6月14日	9:00	9:20	16:30	
	1月31日(木)	国立登山研修所(富山)	12月3日9時~1月7日24時	1月11日	9:00	9:20	16:30	

受講の際の注意：

Aは夏冬共通の内容、B,Cは夏(-S) 冬(-W) で内容が異なります。 B,CはA受講後に受講して下さい。

夏(-S)のB,Cあるいは冬(-W)のB,Cは、連続する2日間で受講して下さい。

B,Cどちらか1日のみの受講はできません。

夏(-S) 冬(-W) どちらから受講開始されても構いません。ABC連続での受講、A1日のみの受講も可能です。

一般社団法人日本登山医学会開催時に受講開始した方で受講コースが残っている方は、継続受講を受けます。

5. 開催所在地

国立オリンピック記念青少年総合センター：〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1, 03-3469-2525

注意) 本会場の宿泊は空室があれば可能です。各自で手配が必要です。

独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所：〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦峯寺ブナ坂6 076-482-1211

長野県山岳総合センター：〒398-0002 長野県大町市 8056-1 0261-22-2773

6. コース構成

(1) コース種類

1	ベーシックコース	夏(-S)コース	10. 参加対象者に該当する方
		冬(-W)コース	
2	リフレッシュコース	ベーシック(夏冬)終了認定を受けたもの(注1)	
3	アドバンスコース	① ベーシック(夏冬)終了認定を受けたもの(注1)、 ② 山岳経験(雪山経験が、年間7日以上かつ3年以上)、 の2つを満たすこと	

平成30年度開催は、ベーシックコースとリフレッシュコースになります。

アドバンスコースは平成31年度12月～2月に2日間で開催予定です。(開催地未定)

(注1) 一般社団法人日本登山医学会主催時の終了者を含む。

(2) コース概要

(イ) ベーシックコースのカリキュラムは、国際山岳連盟医療委員会(UITAA Medcom)、国際山岳救助協議会医療部会(ICAR Medcom)、ISMM(国際登山医学会)、WMS(Wilderness Medical Society)のガイドライン、コンセンサスに則り、日本の病院内医療、救助実態、法規と整合性を配慮した内容となっています。5日間(夏+冬コース)の筆記、実技、技能の全てで評価基準を満たした方に、山岳ファーストエイドbasic providerの認定証を授与します。

初回(夏または冬)コースで評価基準を満たさない項目がある方には、残り(冬または夏)のコースで再評価を行いません。夏冬2度のコースでも評価基準を満たさない場合は、合格まで無償でサポートします。初回(夏または冬)コース受講後、残り(冬または夏)のコースを受ける際、Aコースは無料で受講可能ですが、資料の配布はありません。

ベーシックを終了認定後、更新制度はありません。

(ロ) ベーシック終了認定を受けた者(一般社団法人日本登山医学会主催での終了者も含む)は、知見のアップデート、知識と技術のブラッシュアップの為に、年2回のリフレッシュコースを受講することができます。

リフレッシュコースは、シナリオトレーニングを行い、日帰り講習となります。試験や評価、配布資料はあ

りません。何回でも受講可能です。

(ハ) アドバンスコースは、平成 31 年度より開催予定です。アドバンスコースの受講資格要件は、①ベーシックコース終了者（一般社団法人日本登山医学会主催での終了者も含む）であること、②山岳経験（雪山経験が、年間 7 日以上かつ 3 年以上）の 2 つを満たすことが必要です。

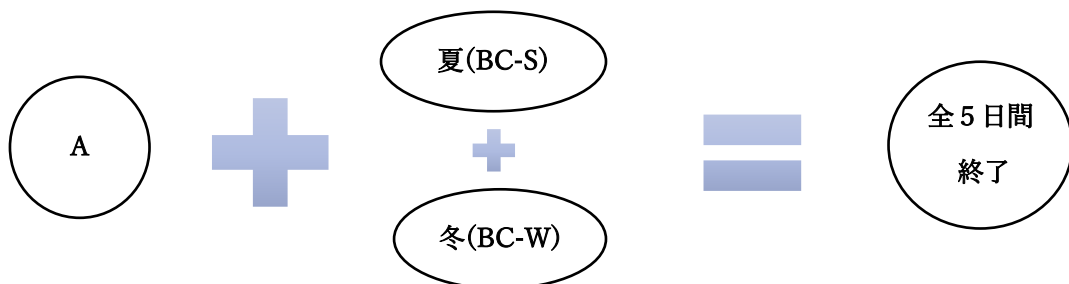
(3) 伝達講習の禁止

本講習は伝達目的では行っておりません。5 日間の講習では、個人のスキルアップを目的として構成したカリキュラムです。よって、以下の 3 つの理由により、伝達講習を禁止しております。①過去に、伝達講習により間違った知識や理解の普及が行われたこと、②本講習内容は知的財産であること、③受講生への公平性を損なうこと。

7. ベーシックコース構成

(1) カリキュラム構成

全カリキュラム 40 時間で構成され、夏コースおよび冬コースの受講が必要です。カリキュラムは A, B, C に分かれ、カリキュラム A は最も基本となる内容となり、全カリキュラムの初めに受講して下さい。カリキュラム B と C は夏コースと冬コースで異なる内容となり、Summer と Winter の頭文字を用い、夏コースでは B-S, C-S、冬コースでは B-W, C-W と称します。夏コース、冬コースどちらからの受講でも構いません。各コースは 3 日間ですが、カリキュラム A は初回時のみ必須のため、全カリキュラム (A, B-S, B-W, C-S, C-W) の履修は最短 5 日で終了します。希望者は A を 2 回 (計 6 日間) 受講することも可能です。その場合も受講料の割り増しはありません。各コースには、筆記試験と実技試験、総合技能評価が含まれ、5 日間全てを履修し、筆記試験、実技試験、総合技能評価の全ての基準を満たした方にアウトドアファーストエイド basic provider の終了証を授与します。



(2) カリキュラム内容

	時間	講義	実技	評価・試験
A	10	山岳ファーストエイドの概念、法規、3SABCDE 初期評価 (総論、各論)、ショック、外傷 (総論・各論、止血)	3SABCDE、頸椎保護、心肺蘇生、体位・移動、外傷処置、固定	実技評価
B-S	9	内科疾患概論：糖尿病、喘息、アナフィラキシー 環境関連疾患概論：熱中症、高山病、落雷、熱傷、火山	屋内・屋外シナリオトレーニング	実技評価・ 筆記試験
B-W	9	内科疾患概論：心臓病、高血圧症、AED、脳卒中 環境関連疾患概論：低体温症、雪崩埋没、溺水、凍傷	屋内・屋外シナリオトレーニング	実技評価・ 筆記試験
C-S	6	A, B-S の知識と実技を実践的に生かす屋外シナリオトレーニング		総合技能評価
C-W	6	A, B-W の知識と実技を実践的に生かす屋外シナリオトレーニング		

(3)受講料金体系 (宿泊費・食費含まず)

【社会人】

3日間 (A, B, C) 受講時	38,880 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)
2日間 (B, C) 受講時	25,920 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)
1日間 (A) 受講時	12,960 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)
リフレッシュ	5,400 円 (税込、傷害保険料含む)

【学生】

3日間 (A, B, C) 受講時	1名で参加する場合：一人 22,680 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)
	2名で参加する場合：一人 19,440 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)
	3名以上で参加する場合：一人 16,200 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)
2日間 (B, C) 受講時	1名で参加する場合：一人 15,120 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)
	2名で参加する場合：一人 12,960 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)
	3名以上で参加する場合：一人 10,800 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)
1日間 (A) 受講時	1名で参加する場合：一人 7,560 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)
	2名で参加する場合：一人 6,480 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)
	3名以上で参加する場合：一人 5,400 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)
リフレッシュ	5,400 円 (税込、傷害保険料含む)

※ 学生料金の適用は受講年度に26歳以下とします。

※ 定員制のため、一度にお受けできる学生の数には制限の出る場合があります。

※ カリキュラムAは1回目で評価基準を満たしていれば2回の受講は不要だが、希望者は無料で2回目の受講が可能。

※ 不合格による追加受講 無料 (合格まで責任もって指導致します)

※ 宿泊、食事について

宿泊費・食費は、当日個人精算となります。参考金額：3日間受講の場合1万円前後。

国立オリンピック記念青少年総合センターでの宿泊は空室があれば可能。各自での手配が必要です。

※ 通いでの受講可。私事外出時の事故は保険適応外です。

8. 担当・講師

講習会開催責任者・責任医師 大城和恵

講習会講師 国立登山研修所医療班講師 水腰英四郎

UIAA/ICAR/ISMM 認定国際山岳医 佐藤真司, 笹尾 玄他

医学博士 川本雅司, 吉田和夫, 濱田 拓他

9. 試験

(1)筆記試験

カリキュラムB終了後に、筆記試験全20問、30分の○×試験を行ないます。70点以上が合格です。試験終了後問題解説と結果発表を致します。65点以下の受講生には、3日目の朝に再試験を行います。不合格者は、次回コースで再々試験を受けることができます。最終合格発表は、全講習終了時となります。

(2) 実技評価

カリキュラム A, B の講習中に、実技評価を行いません。実技の習得目標に則り、評価を行いません。70 点以上が合格です。基準に満たない受講生にはそのポイントを解説します。筆記試験後に実技補講を行ない、再度評価します。評価結果の発表は、全講習終了時となります。

(3) 技能評価

カリキュラム C のシナリオトレーニングでは、知識と実技を実践的に生かす技能評価を行います。基準に満たない場合、反復して行い再評価します。筆記試験で不合格者や実技が不十分であった受講生も、ここでの技能評価が高ければ最終評価に反映されます。逆に、実技と筆記試験が高得点でも、技能評価が基準を満たさないと、実践で生かせないということになり最終評価が低くなります。結果発表は、全講習終了時に行いません。

(4) 終了認定

筆記試験、実技試験、総合技能評価の全ての基準を満たした者は、各コース（A, B-S, C-S または A, B-W, C-W）の終了認定を受けます。カリキュラム構成に示したとおり、A, B-S, B-W, C-S, C-W のすべての評価基準を満たすと basic provider 認定となります。夏（あるいは冬）コースで評価基準を満たさなかった場合、A カリキュラムについては冬（あるいは夏）コースで再評価を受けることも可能です。夏冬コースともに各評価基準に満たない場合、担当医師が合格までサポートします。

10. 参加対象者等

(1) 参加対象者

ア. 以下①②を満たす人

①山岳・野外活動に関わっている人、本講習に興味のある人

（注意）：野外での活動を行うこと、グループ単位での実技を行うこと、開催場所によっては近隣に病院がないことから、持病が管理できていない場合、体調不良時、妊娠中、感染性疾患罹患の疑い（インフルエンザなど）等の場合には、申込後でも受講をお控え下さい。主催者側の判断で、受講をご遠慮戴くことがあります（この場合はキャンセル料金発生の対象となります）。

②6.2.(3) 伝達講習の禁止、の項を十分に理解し遵守できる人

イ. 定員 24 名程度

ウ. 最低催行人数 12 名（最低催行人数に満たない場合は、4. の受講連絡日に連絡します。）

(2) 参加申込先

ア. 上記該当者で参加を希望する者は、締切日までにホームページより申込をして下さい。

<https://sangakui.jp> （1 頁右上の「申込はこちらから」からもアクセスできます。）

イ. ベーシック応募多数の場合は、協議のうえ参加者を決定します。リフレッシュは先着順となります。

ウ. 申込締切 4. の項を参照

11. 受講料

(1) 7. (3) の項を参照

(2) 振込期限 受講決定者に連絡致します。

(3) 振込先 受講決定者に連絡致します。

(4)参加できなくなった場合の受講料の返金について

原則、運営者側の責任により開催出来なくなった場合のみ、受講料をお返しします。

①開催日から14日前：支出済経費、振込手数料を除いた額を返金。

②開催日から14日未満：支出済経費、振込手数料、キャンセル料を除いた額を返金。

7～13日前 キャンセル料 30%

2～6日前 キャンセル料 50%

前日および当日 キャンセル料 100%

【問い合わせ先】

山岳医療救助機構アウトドアファーストエイド講習会事務局

tel: 090-9514-8110 (平日9時～17時)

e-mail: info@sangakui.jp